

平成 29 年度 保育技術専門研修 実施要項

- 1 目的 幼児一人一人の特性及び発達に対応した保育を行うための、保育技術に関する専門的な内容について研修を実施し、幼稚園教員としての指導力の向上を図る。
- 2 対象者 保育所・幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園等並びに府立視覚支援学校・聴覚支援学校（幼稚部）の教員
募集人数 A・B・C・D：各 70 名 E：30 名

3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
A 【1482】	8月25日(金) 14:00～17:00	食育と食物アレルギー対応について —理論と実際— 〔講義・演習〕	府立高槻支援学校 指導栄養教諭 武田 和子 東大阪市 子どもすこやか部 保育室 管理栄養士 太田 裕子
B 【1492】	8月29日(火) 9:30～12:30	子どもが喜ぶ 読み聞かせ —ねえ、もっと読んで！— 〔講義・演習・施設見学〕	大阪府立中央図書館 司書
C 【1502】	8月30日(水) 9:30～12:30	リズムと表現 —イメージ豊かに身体を動かそう！— 〔演習・実習〕	HIRO DANCE COMPANY 主宰 廣岡 祐美子
D 【1512】	8月30日(水) 14:00～17:00	子どもの表現力を豊かに！ —歌って楽しい！— 〔講義・演習・実習〕	大阪府教育センター 指導主事
E 【1523】	9月6日(水) 14:00～17:00	自然体験活動 —小さい秋、見つけた！— 〔講義・演習・施設見学〕	大阪市立自然史博物館 主任学芸員 佐久間 大輔

- 4 会 場 保育技術専門研修 A・C・D
大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約 700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約 1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約 1,700m

保育技術専門研修 B
大阪府立中央図書館（東大阪市荒本北1丁目2番1号）

近鉄けいはんな線「荒本」駅下車、一番出口から北西へ約 400m
地下鉄中央線「長田」駅下車、三番出口から北東へ約 1,000m

保育技術専門研修 E
大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区长居公園1丁目23番）

地下鉄御堂筋線「長居（ながい）」駅下車、南改札口3号出口から東へ約 800m
JR 阪和線「長居」駅下車、東出口から東へ約 1,000m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西へ約 1,800m

5 担当室 企画室

- 6 その他
- (1) 受付は 30 分前から
 - (2) 印鑑を持参すること
 - (3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること
 - (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
 - (5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと
 - (6) A・B・C・Dは一括募集2、Eは一括募集3

一括募集2

一括募集3

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	保育技術専門研修 (研修番号 1482・1492・1502・1512・1523)
2. 研修のねらい	幼児一人一人の特性及び発達に対応した保育を行うための、保育技術に関する専門的な内容について研修を実施し、幼稚園教員としての指導力の向上を図る。 目 標 ① テーマに沿った講義や実技を通して、専門的な知識や技能を学ぶ。 ② 演習等を通して、日々の保育に生かすことのできる保育技術や工夫・改善の方策について考える。 「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 2 期 10・11・13

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内 容	準備物・事前課題
A	食育と食物アレルギーへの対応について	<ul style="list-style-type: none"> ●食育について基礎的な知識を理解し、園での実践に生かす。 ●園における食物アレルギー等による事故を未然に防ぐため、アレルギーに関する基礎的な知識を学ぶとともに、事故発生時における対応力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●講義、演習を通して、日常の保育の中で、食育を進めるための実践的な内容を学ぶ。 ●食物アレルギーに関する基礎的な知識を理解し、園において事故等を未然に防ぐための対応策を市町村の実際の取組から学ぶ。 	
B	子どもが喜ぶ 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本の読み聞かせの手法や留意点、絵本の選び方を理論的に学び、日々の保育で生かせる実践力の向上を図る。 ●図書館の機能を理解し、連携・活用するための基礎を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●講義、演習を通して、絵本の読み聞かせの素晴らしさを体感し、具体的な読み聞かせの手法や留意点、絵本の選び方等を理論的に学ぶ。 ●施設見学を通して、図書館の機能を理解し、園の絵本の部屋の充実を図るとともに、連携・活用するための基礎を学ぶ。 	
C	リズムと表現	日々の保育や運動会の演技指導等で活用できるリズム運動の基礎や幼児への伝え方を学び、実践力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●実習を通して様々なリズムや体の動き、創作活動を体験し、音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを自ら感じる。 ●自分で体験したことを踏まえて、保育の中で生かすことのできる幼児への指導方法について考える。 	準備物 ・運動のできる服装 ・体育館シューズ
D	子どもの表現力を豊かに	音素材や音楽的アプローチから活用できる表現領域の保育技術について学び、実践力の向上	講義、実習を通して、幼児が遊びを通して、主体的に音や音楽に親しみ、歌を歌ったり、リズム表現の楽しさを味わうための	

		を図る。	保育について考え、日々の保育の中で生かすことのできる実践的な指導方法について学ぶ。	
E	自然体験活動	幼児教育に役立つ自然体験活動について知見を深め、園での実践に生かす。	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義、演習を通して、博物館の展示、植物園の樹木・木の実などを活用した保育について学び、自分で体験したことを踏まえて、日々の保育で生かせる実践方法について考える。 ● 施設見学を通して、博物館の機能を理解し、連携・活用するための基礎を学ぶ。 	準備物 参加証を持参すること。 ※参加証は、受講可否決定後、各園に配布します。研修実施日当日、参加証を提示することによって、研修開始前に博物館に入場し、事前見学することができます。